

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔書籍〕 （従業員）	・店舗グランドオープンのため客は増えている。この状況がしばらく続く。
		一般レストラン（店 長）	・大口の予約が何件も入っている。またこのところ、予約の問い合わせが非常に増えているので先々増えると判断している。
	やや良くなる	百貨店（売場担当）	・新規ブランドが好評で、これからの連休または夏に向かって効果が現れると予測している。
		百貨店（販売担当）	・年々クリアランスセールの上は上昇傾向にあり、本年も季節商品の5月、6月の買い控えが7月、8月に回ると予想される。
		スーパー（店舗運営担 当）	・総額表示の形式を5月1日より変更する。安さ感を遡及する事により買上点数の増を期待している。
		コンビニ（エリア担 当）	・今月の状況を見ると、競合出店・スーパー長時間化の影響は少ないと思われ、客数も徐々に良くなってきているので、3か月後はやや良くなっている。
		家電量販店（店長）	・季節的にエアコンがでて、またパソコンの新製品も出揃いテレビも新しいタイプがでているので、やや良くなるのではないかと。
		家電量販店（予算担 当）	・デジタル家電が依然好調で、特にデジタルオーディオは前年比2倍近い伸びで推移している。単価は下落傾向にあるが来店客数増により、今後も売上も増加が期待できる。
		乗用車販売店（統括）	・災害でストップしていた商品の供給ができるようになるので、動きが出る。
		観光型ホテル（スタッ フ）	・隣国の情勢からみると今年は国内旅行が増えるのではないかとということで、当館の予約状況は日に日に増している。
		都市型ホテル（スタッ フ）	・宴会の受注は例年並みである。宿泊は大会ものが数件あり総客が数多く見込まれる。
		タクシー運転手	・国体の開催の準備とか県外からの客が多く来られ、また後半は乗客も景気が悪いと言わなくなり、売上の的にも今までで一番早く回復してきたと感じられる。
		通信会社（社員）	・これから3か月先は新機種等も出てくるので多少今よりは良くなる。
		通信会社（企画担当）	・会員のブロードバンドへのサービスシフトが続き、単価、売上額のアップが当面見込めそうである。
		通信会社（営業担当）	・商品の申込件数が3月、4月と増加傾向にある。
	テーマパーク（広報担 当）	・昨年度が台風や猛暑で来客数が落ち込んだが、今年度は平年並みが見込まれるため。	
	美容室（経営者）	・今新商品をどんどん売出しているの、そのなかで何点かあたられば上向く。	
	変わらない	商店街（代表者）	・今月も3か月先も旅行シーズンであるが、旅行用品の売行きがおもわしくない。
		一般小売店〔靴〕（経 営者）	・ここ数か月、月始め半ばまで売上はかなりいい調子だが後半が低下する。ほかの業種の商店街も同じに見受けられる。それがずっと少しずつ上がり続けられれば良くなる希望が持てるが、あまり変わらないように感じる。
		一般小売店〔100円商 品〕（店員）	・3か月先をみると、競合店も増えるし、いい材料は見当たらない。
一般小売店〔印章〕 （営業担当）		・売上は若干良いが、一般の印鑑の注文がほどほどあるのに対し、法人施設等の注文の動きがない。	
百貨店（営業担当）		・Tシャツ、カットソー等低単価商材中心の動きが予想され、大きな伸びが期待できない。	
百貨店（販売促進担 当）		・県公務員の給与5%カットは周辺の市町村にも広がっており今後消費が好転する要因は今のところ見当たらない。	
百貨店（購買担当）		・客単価は相変わらず低くなっているが、初夏ものが上向きになってきているので、2、3か月先に突入するクリアランスについては期待をしている。	
百貨店（売場担当）		・依然として衣料品の動きが非常に悪くそれに付随した身回り品等についてもヒットアイテムが無く今のままの状態はしばらく続く。	

百貨店（売場担当）	・昨年は猛暑の影響もありまた、夏時期が長かったため、6月当たりからのサンダル需要が目立った。今年に限っては売行きは分からないが、昨年よりこの時期のサンダルの動きが鈍っているため昨年ほどの数字は取れないのではないかと。ただミセス関係の需要が去年より多いため数字が取れそうだがメインのキャリアサンダルの動きが鈍く若干懸念される。
スーパー（店長）	・競合店が増えた関係で競争がよりいっそう厳しくなってきた。こういった中で良くなるという見込みはなかなか立てられない。
スーパー（店長）	・やっと今年も気温が上昇したが、昨年は猛暑のため夏型商品が爆発的に売れていた。今後の天気は見通しがつかないが、去年並みに猛暑にならない限り夏型の需要が見込めない。客数が若干増加しているが点数がややダウンし今と変わらない。
スーパー（店長）	・客は必要な商品しか購入せず、低単価傾向は変わらず、特に衣料品の先行きが厳しい。
スーパー（管理担当）	・特に顧客増に通じる要因は見当たらない。先ごろ改装オープンした競争相手のスーパーでは、パン、惣菜の品ぞろえがよく、多少顧客がそちらに流れているように思われる。当分厳しい競争が続く。
コンビニ（エリア担当）	・相変わらず客は価格に敏感であり、かつ必要なものしか買わないという傾向は続き、客単価の低下、買い上げ個数の減少が続く。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・高額と低価格の2極化がはっきりしてきており、財布のひもは堅く安定した来客数が読めない。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・低価格志向が変わらず、一品単価が下がり販売量も増えてこない状態が継続していく。
家電量販店（店長）	・新製品が出るたびに商品単価が下落する。今以上の努力をしないと現状維持は難しい。
家電量販店（店員）	・また近隣に新店舗ができ、客の買い控えがあると思われる。
自動車備品販売店（経営者）	・客数及びセル商品の動きを目安にすると、堅調に推移するものの、現在の動きからすると回復度合いは遅い。
自動車備品販売店（店長）	・タイヤを中心として客の来店数が多く、買上げ点数が多いが、ゴールデンウィークを明けたらまた元に戻る。
その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・昨年はアテネオリンピック等があり、スポーツ業界はまずまずであったが、今年な大きなイベントもなく低調に終わる。
高級レストラン（スタッフ）	・昨年に比べて今後の予約状況は少ない状況である。ゴールデンウィーク前ということもあるが、利用が少ない状況である。5、6月も予約はかなり少ない。
一般レストラン（経営者）	・他社のファミリーレストランが同じ松江市に3店舗も出店したにもかかわらず来客数が昨年より若干少ないだけにとどまっている。
一般レストラン（店長）	・とうとう牛タン仕入れ困難により販売中止となった。どこの焼肉屋でも牛タンが消えている。肉の次はビールの仕入れ値上げがあるという異常な状況の中、時期的にビアガーデン対策も検討しなければいけない。頭が痛いところである。
観光型ホテル（スタッフ）	・3か月先、夏休みに向かっての動きがあるがそれまでは団体、個人のファミリーの客等も現状の数字のままである。
都市型ホテル（経営者）	・飲料部門については、前年並みで推移する見込みであるが、肝心の宿泊部門の6、7月は予想で前年を下回る。特に7月は前年インターハイがあった関係で大きく落とし込む見込みである。又、愛知万博の影響で国内観光客の入込みも苦戦する見込みで、上半期は4月同様対前年でマイナスを強いられる。
都市型ホテル（従業員）	・宴会部門では、大型宴会の予約状況が厳しく、件数増で収入を確保していく状況が続く。
タクシー運転手	・景気は悪いながらも安定しており、2、3か月くらいで変わるとは思えないし、また利用者の様子からもうかがえる。なんら景気が上昇する材料が見当たらない。
タクシー運転手	・飲食店街の一部の中で退去する店が相次いでいる。
通信会社（社員）	・変動のあまり無かった昨年度と、お客様の様子はほとんど同様の動きをしている。
通信会社（総務担当）	・対中国との関係悪化により、製造・販売とも厳しい状況になると思われるが、当面は国内、あるいは、東南アジア諸国での製造・販売により変化は無い。

		ゴルフ場（営業担当）	・昨年度と本年度の今後の3か月の予約数を調べたところ、5月は増えているが6月は減っているということで変わらないであろう。はっきりしないが、回復に向かう可能性もある。
		美容室（経営者）	・同業者たちも簡単に店ができるし、次々新規開店があり、その分来客数も減ってくるし難しい状況にある。
		設計事務所（経営者）	・全体的に箱物に対する投資傾向が低迷しており、上向き様子がなかなか見受けられない。
		設計事務所（経営者）	・今後民間のリフォーム工事が動きそうな気配だが公共工事の見通しがたたない状況なので、トータルであまり変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・来客数の減少傾向及びお客様の購買意欲も低下きみで今後も推移する。
		住宅販売会社（経理担当）	・2～3か月新規の発売物件が無く既存物件での営業活動を続けていかなければならないため、モデルルームへの集客数や契約数は現在よりも更に低調となる。
		住宅販売会社（販売担当）	・今年度の展示場、イベント、売り出しの来場数が前年比で見ても下回っている。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・今月末で移転閉店するところもあり、中心商店街の空洞化がさらに進んでいる。今後店舗の増加する予定も現在のところ無いため、来店者数がさらに減少している。
		商店街（代表者）	・大規模店の問題、車でやって来る客の駐車スペースの問題、またアーケードと言う事で閉塞感があるのか、とにかく出口が見えないといった状況である。
		百貨店（営業担当）	・今の好調さは主に天候に支えられたものなので、いつまでも続く保証はない。
		百貨店（売場担当）	・3月東京都内が非常に厳しかった分、4月については地方に在庫が回ってきたという状況でしたが、5月については生産調整がかかりこれから夏物を売っていくのに非常に厳しくなる。
		スーパー（総務担当）	・昨年より気温が低く飲料関係が前年割れしており、この調子だと5月の連休も期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・今の状況では良くなる要因はない。今後は他メーカーとの競合のなかでシェアを上げていく。新しい店舗も入ってくるので半年先は良くなると思うが、ここ3、4か月は我慢とと思っている。
		住関連専門店（広告企画担当）	・値段的にも納期的にも厳しい客の割合が、今後一層増えてくる。
		住関連専門店（営業担当）	・外部から客が流入してくる地域ではないので向かい合う競合店と同じパイを分け合っている。先月位から始まっているのでこの傾向が続いていくと1年目は売上が徐々に落ち込んでいく。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・新しい品を買うのではなく修理、リフォームをして使いたいとの思いが強い。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・行楽シーズン、夏休みなど愛知万博に観光客が流れ祝祭日の売上が落ち込む。
		テーマパーク（財務担当）	・集客面では、京阪神方面からの団体客を中心に減少するものと思われる。一方、今年は国体が地元で開催されるため、全国からの来県は見込まれるが、愛知万博の影響を考えると、やや悪くなる。
	悪くなる	スナック（経営者）	・4月29日から大型連休になってくるが、昼はスーパーや使用料が要らない場所、遊園地でも入場料が要らない安い場所で1日を過ごす。夜も我々の飲食店には出てこない。年中無休で商売しても日曜、祭日の夜は人通りがないし、客が入らない。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・経費節減や業務の合理化・効率化等の社内体制の整備が進み生産効率も上昇し利益が出るようになった。依然として物流費や原燃料費高等の影響はあるものの、当面は現状を維持しそうである。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車関連の受注は3か月を超えて、高止まりの予想で推移しており、材料他部材の供給においてもすでにメーカーに対し強気の発注を行っている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・通常、1つの工場で生産しているものを、6月より2つの工場で生産し増産に対応するという顧客があり、景気はよくなる反面、対応に苦慮している。
		建設業（営業担当）	・不動産関係において土地及び土地建物の流動化物件が動き始めた。

	金融業（業界情報担当）	・米国経済の減速懸念や原油価格の高止まりなど不安材料は残るが、世界的にみると底堅い景気拡大が続き、主要受注先の生産拡大により売上高は増加見込み。設備投資・雇用も引続き積極的に実施予定である。
	不動産業（経営者）	・まず、金融機関の前向きな貸出が最近は見受けられる。例えば各民間の金融機関、保証協会あるいは、国民生活金融公庫が改善されつつあるというお金の流れが割合いい方向に動いているようだ。
	その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	・気温が上昇するによって、蟻、ムカデ等の害虫駆除の要請、サービスの申込が増えている。また、家庭用のエアコンのクリーニングの清掃申し込みも増えている。温度が上昇すると景気も上向いてくると考えられる。
変わらない	化学工業（総務担当）	・原材料の価格が上昇しており、じわじわと収益に影響出てきた。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・生産量の大きな変動は無い見込み。新規引合を確実に受注できれば落ち込んでいる生産が回復できそう。原料価格は本年度に入り上昇、今年こそ販売価格への転嫁を実施したい。
	鉄鋼業（総務担当）	・鋼材需要について国内向けは、自動車向けなど好調を生産を背景に需要増を見込んでいるが、土木向けなどは公共工事削減継続などにより需要薄。輸出向けは高級品種は逼迫感継続により、堅調に推移するものと見込んでいる。
	金属製品製造業（総務担当）	・受注量は高い状況で推移していく。しかし原材料の高騰も続いており、引き続き注意してみる必要がある。また、中国の反日ムードもあるが、取引への影響はないと得意先より聞いている。
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内海外ともに自社製品の売上は順調に推移しているが、原材料の高騰による悪影響が今後も続く見通しである。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・ガソリンの値上げで原価は上がる一方で、賃金にしてもコストの削減のため正社員採用が減り、パート採用でなんとかやりくりしている。好調な企業はというと海外輸出中心の企業である。
	建設業（経営者）	・ビルとか集合住宅とか解体はあるが、あとはほとんど駐車場になって物が建っていない。もし建ったとしても全国業者であり、また品物もプレハブ的なもので地元波及しない。
	建設業（経営企画担当）	・建設業界において公共工事に依存している割合が多い当社にとって、今後の受注が伸びる要因は無く、民間の受注に期待をしているが、この分野でも他社との競争は非常に厳しい状況は以前として変わらない。
	輸送業（統括）	・昨年の暮れから今年の4月以降料金値上げをして下さいと数社お願しているが、どこも値上げ要請に答えてくれない。また今は6月以降の新しい仕事の公共の入札時期に入っており、それらに参加しても現行の料金以外では落ちないという状況になっている。
	通信業（営業企画担当）	・電話を含めたIP化など、ユーザサイドからは魅力的な情報通信機能のブロードバンド化促進となりつつあるが、提供サイドのコスト低減努力も限界に近く、出血覚悟のシェア争いが収まる気配がない。
	会計事務所（職員）	・4月よりのペイオフで、販売、サービス業に大きな影響が出ると思っていたが、全くと言っていいほど影響は感じられなかった。公共工事は、市町村合併にからむ国からの歳出があるので、夏場以降発注は活発化すると思われる。反面、製造業はこれから生産調整があると思われるので、現在よりは落ち込むと予想される。
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・委託製品については受注量は若干伸びてきているが、社内的な自社製品の伸びがいまいちであるというところで新規商品の開発が進んでいって売上が伸びない限り難しい。
	電気機械器具製造業（広報担当）	・受注確保に関し、先行きが不安である
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・購入資材の値上がりに加え、受注価格の引き下げ要求に対してはある程度やむを得ないと思われるし、さらに4月の定期昇給による人件費の負担増もあり、採算悪化に影響してくる。
	金融業（営業担当）	・年度替りの需要がほとんど期待できない状況にある。建設業は日給が月給にシフトされるから、会社としてはやっつけているが、その間休職状態にあり、仕事が無い状況がずっと続いて、6月以降でないと思通しが立たない。
悪くなる		

雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 (担当者) 学校[大学](就職担 当)	・求人企業が増えることで、既存の企業の求人活動がさらに活性化される。 ・求人数が増加していることと、全体的に製造業の求人が増加していることによる。
	変わらない	人材派遣会社(経営 者)	・人材派遣の需要は依然として全般的に堅調ではあるが、製造業を中心にやや人材需要が減少しつつある。先行きについては一進一退ではないか。
		職業安定所(職員)	・求人全体では横ばいに推移すると思われるが、内容は非正規型雇用や有期雇用契約の求人が益々目立つようになると思われる。
		職業安定所(職員)	・求人数がさらに増加する要因が全く無く、逆に卸・小売業の不振により求人の減少、建設工事量の減少により人員整理があると思われ、厳しい状況が続く。
		職業安定所(雇用開発 担当)	・運輸業、サービス業である程度まとまった求人があるものの他には目立った動きはない。また、一部に人員整理の動きがあるものの大規模なものではない。新規求人数は昨年と比較して減少しているが、新規求職者も減少しており、有効求人倍率は横ばいが続いているので雇用状況に変化はない。
		民間職業紹介機関(職 員)	・特に企業が欲しているのが若年層であり、その若年層がなかなか採用できない状態である。
学校[短期大学](就 職担当)	・新年度がスタートするも、地元地域からの求人受案件数が思いのほか伸びず、昨年度同時期と比較しても増減無し状態で推移している。地元各企業の人事担当者からは、先行きがまだ不透明なため今年度も求人活動は慎重にならざるを得ないとの言葉が聞かれ、景気復調の予感を感じられない。		
やや悪くなる	民間職業紹介機関(職 員)	・国内での安定的な雇用が増えない。業績好調な自動車部品製造企業で研修生名目のアジアからの労働者が急増している。	
悪くなる			